



真室川町：野々村ため池



最上保健所長から新年のごあいさつ

新型コロナウイルスの影響により、いつもとは違う新年の幕開けとなりました。

年末年始においても県内の感染者は途絶えることが無く、注意・警戒レベルは4に引き上げられたまま、医療現場の逼迫も深刻な状況となっています。

手洗い、マスクの着用、換気などの基本的な感染予防対策のほか、「3密」や「マスク無しの会話・会食」を避ける「新しい生活様式」の徹底により、なお一層感染予防に努めていく必要があります。

県では、県民の皆様の安全を第一に考え、感染拡大防止のために様々な対応を行っております。この難局を乗り切るためには、地域の皆様のご理解とご協力が不可欠ですので、一緒にご頑張ってまいりましょう。



最上保健所長（医療監） 鈴木 恵美子

雪害事故防止！ ～雪下ろし作業中の事故にご注意を～

12月14日からの大雪により、県内では複数の死亡事故が発生し、管内においても除雪作業中、屋根からの落雪による死亡事故が発生しました。特に高齢者の方が事故に遭うケースが多くなっています。

県民の皆様には事故に遭わないよう、足元だけでなく屋根からの落雪にも十分御注意のうえ、雪下ろし作業では次の『8つのポイント』に特に注意して作業をお願いします。

- ① 気温が高い時は屋根の雪のゆみに注意！（暖かい日の午後は特に）
- ② ヘルメットを着用し安全な服装で作業しましょう！
- ③ 転落防止のため命綱を使いましょう！（正しく使用しないと危険）
- ④ はしごはしっかり固定しましょう！（昇り降りには特に注意が必要）
- ⑤ 使いやすい除雪道具を使いましょう！（アルミ製スコップ等）
- ⑥ 2人以上で作業しましょう！（携帯電話も持ちましょう）
- ⑦ 無理な作業はやめましょう！（十分に休憩をとりながら、何回かで）
- ⑧ 足場はいつも注意！（軒先は危険です。足場は慎重に）



※詳細は山形県 HP (<https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/index.html>)

[防災安全室 29-1209]

しごとトーク～若手社員のリアルなおはなし～ @ 新庄北高校最上校

12月17日、新庄北高校最上校の全校生徒を対象に、地元の様々な職場で働く若手社員の方から、仕事のやりがいや新庄・最上での暮らしのことなどをお聞きする特別授業を開催しました。(有)大沼産業の高橋京助さん、(株)丸徳ふるせの赤川美希さん、(株)まちプランニングもがみの大石文美子さん、(株)リヴィントンの土田徹奈さんにご協力をいただきました。皆さんお手製の“紙芝居”を使いながら、学生時代の話や今の仕事に就いたきっかけなどわかりやすくお話しくださり、生徒からは、「仕事で失敗したときの乗り越え方は」「どんなときにやりがいを感じるか」といった質問が次々出ていました。センパイ方の仕事に対する想いや実際の暮らしぶりを聞き、自分の将来や進路について深く考える機会になったようです。



[地域産業経済課 29-1309]

大高根農場記念山形県農業賞

12月2日、ホテルメトロポリタン山形において表彰式が開催され、鮭川村の株式会社アイオイが受賞し、知事から賞状と楯を授与されました。

株式会社アイオイは、県内最大級の肉用鶏飼育を実践し、「やまがた最上どりカルパス」や「やまがた最上どリスモーク」等の商品製造等に取り組み、県の鶏肉のブランド力向上に貢献されています。

また、令和2年4月には鶏肉加工施設を新たにオープンし、地域の活性化と雇用の創出にも大きく貢献されています。



[地域産業経済課 29-1307]

山形県ベストアグリ賞

12月11日、県庁で表彰式が開催され、舟形町の株式会社ムラサキ農産代表取締役の八鍬良則氏が知事から賞状と楯を授与されました。

株式会社ムラサキ農産は、大規模稲作に加え、夏秋期間にねぎ・葉ねぎとトマト、ラズベリーを、冬期間にマッシュルームを栽培し、加工品製造販売も行って、常時雇用を活用した周年農業を確立し地域の中心経営体として活躍しています。

八鍬代表は、「受賞を糧に、今後も地域農業を盛り上げていきたい」と抱負を述べられました。



左：八鍬良則代表 右：産業経済部長

[農業技術普及課 29-1326]

最上で一番おいしいお米はどれだ！



12月4日、最上総合支庁内において最上産「つや姫」「雪若丸」「はえぬき」の食味コンクールを開催しました。本コンクールは、地域で米づくりに励んでいる方々の努力の成果である「おいしいお米」に注目してもらい、地域全体のお米の品質やおいしさが向上することを目的に開催しています。

厳正な審査の結果、「つや姫」の部では山形つや姫マイスターである真室川町の阿部助次さん、「雪若丸」の部では最上町で独自販売に取り組む大沼寿一さん、「はえぬき」の部では以前県全体のコンクールで県知事賞を受賞したこともある金山町の庄司政次さんが最優秀賞に選ばれました。感染症対策のため表彰状は御自宅での授与となりましたが、受賞された方々は「日々の努力の成果が評価されてうれしい。今後もよりおいしいお米をつくって消費者の皆さんに届けたい」と語っていました。

[農業技術普及課 29-1330]



つや姫の部最優秀賞 阿部助次さん

外国人にとっての「やさしい日本語」とは？

12月9日、山形県国際交流協会の栗野さとみさんを講師にお迎えし、外国人材を活用している事業所の受入れ担当者などを対象に、外国人の方にもわかり易いやさしい日本語を学ぶ「やさしい日本語セミナー」を開催しました。参加者からは、「まだ外国の方を受け入れたばかり。今後の対応に役立てたい」「わかりやすい言葉で相手に伝えることは、外国人だけでなく、普段から大切な姿勢であることを実感した」などのご意見をいただきました。

[地域産業経済課 29-1306]



地域の防災力向上のために

11月29日、新庄市民プラザにて地域防災力向上セミナーを開催しました。全国の研修や地域防災計画の評価検証に従事されている花輪晃彦氏と、戸沢村蔵岡地区の民生児童委員として平成30年の二度の洪水災害で尽力された山崎昇氏から御講演をいただきました。

参加者からは、「問題点や対応が具体的に示され参考になった」等、多数の感想をいただきました。

県では、地域防災力向上を目的として、今後もセミナー等の開催に取り組めます。

[防災安全室 29-1209]



豊かな個性「一步一步フェスタ2020」

今年度で26回目を迎える最上地区障がい者週間記念事業「一步一步フェスタ」が、12月5日から11日まで、ゆめりあを会場に開催されました。

今年は地域の方々に管内の事業所を知ってもらうための紹介ブースに加え、各事業所の利用者が描いた絵や塗り絵などを展示した「いっぱい作品展」を行いました。

作品展では、作者の個性や様々な表現を感じることができました。



[地域保健福祉課
29-1276]

働く女性の気づきをシェア

12月16日、(株)エッサム(新庄中核工業団地)を会場に、(株)さくらプランニングの工藤恵子氏をコーディネーターとして、新庄中核工業団地内で働く新人から管理職までの女性たちによる座談会を開催しました。「女性は女性上司には相談しやすい」「実家だからこそ資格取得に専念できる」「若い時外に出て最上地域の良さが実感できた」「地域からの情報発信が重要」など、女性活躍に関する気づきやリターン就職の大切さ等を共有しました。

県では、今後とも女性が活躍しやすい環境づくりの推進に取り組んでまいります。



[子ども家庭支援課 29-1221]

カフェでナースのつながりづくり

12月16日、新庄市のCAFE LABOを会場に、第1部「最上地域の新人看護師と、将来、看護師をめざしている高校生との交流会」、第2部「ナスカフェ(新規採用看護職の交流会)」を開催しました。

第1部では、受験する看護学校の選び方や学生生活等について話題となり、高校生にとって進路選択の参考となる貴重な機会となりました。第2部では、1年目の悩みを共有したり、勤務場所によって全く違う業務内容等を情報交換することができ、病院や施設の枠を超えた交流が行われました。



[保健企画課 29-1257]

いじめのない放課後へ

12月1日、最上総合支庁にて「第3回最上地区放課後子ども総合プラン指導者研修会」を開催し、放課後児童クラブ・子ども教室の支援員など28名が参加しました。

東北文教大学の齋藤昭憲先生さいとうあきのりを講師にお迎えし、「いじめ問題への理解と対応について」をテーマにお話を伺いました。参加者からは、「子どもたちとの接し方を見つめ直したい」などの感想が寄せられました。



県では、今後も放課後児童クラブ・子ども教室の支援員等の資質向上に取り組んでまいります。

[子ども家庭支援課 29-1245]

オンラインで子育て支援の輪を広げよう

最上地域みんなで子育て応援団(事務局:最上総合支庁)では、オンラインを活用した子育て支援の取り組みを進めており、11月5日に、Web会議システム(Zoom)の操作方法や県内での実践例を学ぶ研修会を開催しました。また、12月17日には、オンラインイベント「みんなでオンライン in moconet」を開催し、応援団会員施設を結んで手遊びなどを楽しみました。



今後新しい手法を取り入れながら、地域全体で子育てを応援する環境づくりを進めてまいります。

[子ども家庭支援課
29-1245]

めざせ!医療・介護のしごと!

地域の小中学生に医療職・介護職に関心を持ってもらうため、「進路を考える学習会~めざせ医療のしごと~」と題し、12月9日に新庄中学校で看護師・薬剤師・作業療法士・介護福祉士の体験授業、12月18日に真室川小学校で医師・看護師・薬剤師の方からお話を聞く特別授業を行いました。

参加した生徒からは、「医療の仕事について知ること興味があった」という感想も聞かれました。



この学習会は、今年度は残り9回の開催を予定しています。県は、今後も最上地域の医療・介護人材の確保に取り組んでまいります。

[保健企画課 29-1257]



■ 道路除雪作業についてのお願い ■

安全でスムーズな除雪が出来るよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

○除雪車には近づかないで！

除雪車の周辺は運転手の死角となり危険です。

○道路に雪を捨てないで！

道幅が狭くなり、スリップや歩行者との接触事故の原因になります。

○寄せ雪処理にご協力を！

除雪後には宅地入口に多少の雪が残ってしまいます。各ご家庭やご近所で協力し合い、寄せ雪の処理をお願いします。

○流雪溝の投雪ルールを守りましょう！

地区で決められたルールを守り、作業後は必ず蓋を閉めましょう。

[道路計画課 29-1397]



■ 第3回森の恵みでつくる建築セミナー

「最上・金山杉等の地域材」を首都圏等で利用拡大する手法について、木造建築に精通した建築士等から学ぶセミナーを、YouTube ライブ配信にて開催します。ぜひご視聴ください。

■日時 1/22(金) 14:30~17:00

□森の恵みでつくる建築セミナー-HP

<http://mkmorinomics.wixsite.com/seminar>



(第1・2回セミナーもご覧いただけます)

内容

- ・地域に根ざした木造建築
- ・地域と都市をつなぐ木造建築
- ・歴史ある建物と人に寄り添う木材利用

[森林整備課 29-1351]

■ 「冬の省エネ県民運動」にご協力ください

～知恵出して チャレンジしよう！ 令和の省エネ～

暖房などでエネルギー消費が大きくなる冬季において、無理のない範囲での省エネ・節電をお願いします。

特に今冬は、新型コロナウイルス感染症を予防するため、適度な換気を行いながら、適切な室温管理を行いましょう。

<例>

- ・電気こたつの設定温度を低くする
- ・お風呂は間隔をあげずに入り、追い炊きをなるべくしない。



エコペン eYOC

[環境課 29-1284]

最上総合支庁食堂「千起」特別メニュー！ぜひお試しください

■ 冬のおいしい適塩ランチ☆第3弾 1/19(火)

「食塩を抑えたいが、どうしたらいいのかわからない」「適塩の食事を実際に食べてみたい」と思っている方にオススメ！美味しさはそのままだに食塩を2.5gに抑えた適塩ランチ、ぜひこの機会にお試しください！

menu

- ・ごはん
- ・冬野菜の具だくさん粕汁
- ・豆苗のネギみそ炒め
- ・彩野菜のコールスロー
- ・ゴマ豆腐のあんかけ
- ・鶏唐揚げのピリ辛チリソース
- ・季節のフルーツ(予定:みかん)

600円(税込)

※100食限定!!売切御免!!

[地域保健福祉課 29-1267]

■ 高校生考案！地産地消定食 1/29(金)

最上総合支庁では食堂「千起」と連携して毎月「地産地消定食」を提供しています。11月からは地元高校生のアイデアを活かしたメニューを用意しています！1月は新庄東高校家庭科部の皆さんが考案したメニューです。ぜひお試しください！

私たちが考えました！



新東家庭科部の皆さん

※詳細は後日 Twitter 等でお知らせします！

[農業振興課 29-1317]

▶発行日：令和3年1月6日

▶発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

▶電話：0233-29-1360 ▶FAX：0233-23-2605



Twitter

@shinjo_mogami



HP

